

## 資料

### 【上手な話し方を身につけるロールプレイ原稿】

登場人物 A君：本を貸した方 B君：本を借りた方 C先生

A君に借りた本をB君はうっかりよごしてしまいました。B君は悪いなと思いつつも言い出せず、そのことについては何も言わず本を返してしまいました。A君はそのことに気づきました。

『攻撃的』

B：あ～あ、どうしよう。本よごしちゃった。あいつこの本だいじにしてたから怒るだろうな。だけど、正直に言わなくちゃいけないよな。どうしよう。

A：(突然現れる) あっ、それこの前貸した本だよな。おもしろかった？

B：うん、とつても。ありがとう。じゃあまた。

A：(ぱらぱらと本をめくってよごれに気づく。)

きつたないなあ。おい、どうしてくれるんだよ。弁償しろよ。

B：え、ぼくじゃないよ。最初からきたなかったよ。

A：そんなはずないよ。おまえがやったんだろ。弁償しろよ。(肩をこづく。)

B：(よろけて、壁にぶつかりひじを痛めてしまう)

いってえなあ……。謝れよ。

A：やだね。おまえが悪いんだろ。

(ここに先生が通りかかる。)

C：どうしたんだ？けがしてるじゃないか。

B：A君が暴力ふるったんです。

C：なんだって？きみはすぐ保健室に行きなさい。A、きみは職員室に来なさい。

まったく、暴力ふるって友だちをけがさせるなんて。

A：うるせーオレは悪くないんだ。

C：なんだそのものの言い方は！

あらあら、A君すっかり悪者になってしまいましたね。友だちに本を貸してあげるやさしい子なのに。どうしてこうなってしまったのでしょうか。

【上手な話し方を身につけるロールプレイ原稿】

登場人物 Aさん：本を貸した方 Bさん：本を借りた方 Cさん

Aさんに借りた本をBさんはうっかりよごしてしまいました。Bさんは悪いなと思いつつも言い出せず、そのことについては何も言わず返してしまいました。Aさんはそのことに気づきました。

『非主張型』

B：この前借りた本ありがとう。おもしろかった。じゃあね。

A：(パラパラと本をめくり) わあきたない。なにこれ？こんなによごれちゃてる。

Bさんがやったんだ。ひどいなあ。でもなあ、文句言うとキレるかもしれないし。

後で何か言われるのやだなあ。でも、この本だいじにしたたのになあ。しかたないか。

これからはもうBさんにはなんにも貸さないことにしよう。

(別の日に)

B：わあ、この本読みたかったんだ。貸してくれるよね。

A：えー、まだ、読み終わってないしい。

B：いいよ、読んでからでも。

A：でもお、まだまだ時間かかりそうだし。

B：じゃ、わたしが先に読んじゃおうか？わたし読むの早いから。

A：えー、それは・・・ちょっと・・・困るう・・・

B：ふーん、要するに貸したくないってことね。

A：そうじゃないけど・・・

B：わかった。もういい。

そこへCさんが通りかかる。Aが見えなくなったところで。

B：Aさんってけちなんだよ。おもしろそうな本持ってるんだけど、貸してくれないんだよ。

C：へえー。そういう子なんだあ。意地悪だね。

B：そう、すっごいいじわるなんだよ。前にもね・・・・・・・・・・・・・・・・

(と、二人でAさんの過去の意地悪について尾ひれをつけて話す)

あらあら、Aさんすっかり悪者になってしまいましたね。友だちに本を貸してあげるやさしい子なのに。どうしてこうなってしまったのでしょうか。

【上手な話し方を身につけるロールプレイ原稿】

登場人物 A君：本を貸した方 B君：本を借りた方

A君に借りた本をB君はうっかりよごしてしまいました。B君は悪いなと思いつつも言い出せず、そのことについては何も言わず返してしまいました。A君はそのことに気づきました。

B：この前貸してもらった本ありがとう。おもしろかったよ。じゃあね。

A：(パラパラと本をめくり。) あれえ、よごれてる。

A君、ちょっと待って。あのさあ、もしちがってたらごめんね。この本、貸したときはよごれてなかったんだけど、こんなになってるんだ。なにか知ってることがあったら教えてくれないかな。

B：・・・実は、オレがよごしちゃったんだよ。返すときに言おうと思ったんだけど、怒るだろうなと思って言えなかったんだ。ごめんね。

A：そうだったんだ。でも、わざとじゃないんだろ？

B：うん。

A：だったら正直に言ってくればよかったのに。

B：うん。今度からそうするよ。ほんとにごめんね。

A君はB君から本当のことを聞けましたね。B君も自分の言いたかったことを言えて謝ることができました。前の2つの例とどこがちがうのでしょうか。